

自分たちの建てたい家が自然とできていった。  
この家は100点。120%満足しています。



# Come Home Story

ご入居後の  
お宅訪問  
No.013  
カムホームストーリー  
四万十市・Kさん家  
竣工:2011年3月  
設計担当:岡本 理絵



「大事なのは、思いを理解してくれる  
パートナーに巡り会えるかどうかですね」

四万十市で歯科を開業しているKさまのお宅。アパートで家族5人が暮らすことに次第と窮屈を覚え、本格的に家づくりを考えはじめました。そこで依頼した設計の方は男性。主婦目線の要望がうまく伝わらず悩んでいた時、「行ってみたら?」と友人に後押しされたタイセイホームの見学会。「かわい過ぎるかな…」と少し抵抗のある旦那さまを誘い足を運びました。「Kさんの好みに合いそうな家があるけど見てみますか?」そこで出会った大崎社長に案内された家を見て、旦那さまの印象がガラリと変わりました。打合せでは、自分たちの好みを聞きながら分かりやすくまとめていくことで「自分たちの建てたい家が自然とできていった」と話します。向かう方向が同じだったという大崎社長や設計コーディネーターの岡本さんとの出会いが、後悔しない家づくりの大きな鍵となりました。

「主人も本当に建てて良かったっていつも言ってます」

Kさまのお宅では、木で目隠しされたウッドデッキの一角で毎日洗濯物を干しています。勝手口からキッチンを通り真っ直ぐつながる脱衣所を利用し、取り込んだものはその場でたたみ、しまえるスペースも十分に確保。日々の家事を難くなくなると奥さまは「この動線がいいから」と満足気に話します。「雰囲気のある家にしたかった」。旦那さまにとって自然素材は絶対条件。「劣化がポイント」だと話す理由は、自然のものが自然に変わっていくことで人工物にはないツヤと味が出るからだと言います。無垢の床をはじめ、壁は珪藻土の塗り壁、植物のオイルからつくられた自然塗料の色合い、暖色系の照明などで、こだわりの「雰囲気のある家」が叶えられ、奥さまのセンスあるディスプレイが空間を一層惹き立たせています。「この家は100点。120%満足しています」と、自然素材の家との暮らしに喜びを噛みしめるKさまご一家です。

「やっぱり、焦らないことですね」

「見えるところだからみんながキレイに使ってくれる」と奥さま。来客も使う洗面台は脱衣所からホールに出しました。毎日使う場所で、出したものを片づけるクセがつくようになったと言います。アパート暮らしから大きく変わったところは、「ストレスが全然違うこと」と旦那さま。せかせかした生活が変わり、イライラすることも減りました。大好きなお酒を飲むのが一転。「ちょっと走るか」と健康志向になってきたと言います。奥さまは料理やお菓子づくりが大好き。アパート暮らしではお気に入りの食器を収納するスペースにストレスを感じていました。今では広々としたキッチンに使いやすい作業台をつくり、くると回ることのできる動線に「大満足」と奥さま。友人たちと楽しむ料理では、この作業台が中心となっています。旦那さまは頭の中で自分たちの暮らしを何度も描いてきました。設計図をじっと見ていると、ココはコッチのほうがいいんじゃないかと、気づく点必ずあると話します。「焦らず時間をかけて良かった」と、暮らしにピッタリと合った設計に大満足のKさまです。